

令和7年度 災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）養成研修会

県教育委員会では、大規模災害発生時に被災地で想定される学校教育の混乱解消に向けて、被災自治体の要請に基づき、現地で教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）」の新規構成員となるための養成研修会を開催いたします。

記

- 1 日 時 令和7年8月28日（木曜日）
午前9時30分から午後4時10分まで
- 2 会 場 石巻市震災遺構門脇小学校の多目的学習室
(石巻市門脇町4丁目3番15号)
みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市南浜町2丁目1番56号）
石巻市震災遺構大川小学校（石巻市釜谷字葦島94番地）
- 3 主な内容 (1) 講義「宮城県の防災教育」
(2) 講義「被災地における学校支援の意義」
(3) 視察「みやぎ東日本大震災津波伝承館施設」
(4) 視察「石巻市震災遺構大川小学校」
- 4 受講者 本人が希望し所属長が推薦する教職員（36名）
- 5 取材について
(1) 取材を行う際に表記のメールアドレスあて、8月26日（火曜日）午後4時まで可能な限り申込をお願いします。
①会社名 ②取材（撮影）方法 ③取材人数 ④来場予定時刻を記載願います。
また、石巻市震災遺構門脇小学校及び大川小学校で、取材・撮影を予定している場合は、別添の「石巻市震災遺構取材・撮影許可申込書」を本課に提出願います。
(2) 取材の際の注意点
イ 報道機関の受付については、会場の当課職員に声掛けをいただきますようお願いいたします。
ロ 取材当日は、社名等が明確となるよう、必ず腕章等を着用願います。
ハ 会場内での取材エリアは、受付時に説明いたします。

（裏面に続く）

【参考】

1 養成研修の内容

令和6年1月の能登半島地震で「災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）」として支援活動を行った、多賀城高等学校 津守大智教諭による「被災地における学校支援の意義」と題した講義のほか、みやぎ東日本大震災津波伝承館や石巻市震災遺構大川小学校の視察等を行い、受講者に、支援に向けた高い意識や専門的知識、実践的対応などを身に付けていただきます。

2 MIRAIについて

県教育委員会では、大規模な災害の発生に伴う、被災地において予想される学校教育の混乱の解消に向けて、被災自治体の要請に基づき、教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）」を設置しています。被災地支援に向けた高い意識と専門的知識や実践的対応能力を身に付けさせることを目的として、令和元年から養成研修を行い、令和7年4月現在でチーム員数は181名になります。

令和6年1月の能登半島地震では、18名のチーム員を能登町内の学校に派遣し、児童生徒の心のケアや学校再開の支援をしました。



災害時学校支援チームみやぎ
通称「MIRAI」

MIyagi
Restart
Assistance team for schools
In the disaster-stricken areas

“被災地の学校再開（教育復興）を支援するみやぎの教職員によるチーム”

登録者数 181名（令和7年4月1日現在）
（教諭122名 主幹教諭27名 養護教諭13名 栄養教諭2名
実習教諭1名 事務職員7名 行政職員9名）

3 全国の学校支援チームの設置状況

全国で災害時の学校支援チームを有するのは7道府県のみであり、本県の先進的な取組を県内外に向けて広く発信したいので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

※令和7年4月の時点で、チームを設置済み道府県（北海道、宮城、三重、兵庫、京都、岡山、熊本）